



～ご存じですか？ 明治期、熊谷県令を務めた

「楢取 素彦（かとりもとひこ）」と友山の交友～



楢取 素彦

平成27年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の主人公は、幕末の思想家・吉田松陰の妹「文（ふみ）」で、女優の井上真央さんが演じます。

この主人公「文（ふみ）」が再婚した夫が、

「楢取素彦（かとりもとひこ）（旧名「小田村伊之助）」です。



根岸 友山

ドラマは、明治維新の真ただ中を生き抜いた「文（ふみ）」が時代の波に翻弄されながらも困難を乗り越えていく過程を、家族の絆や若者たちの青春群像を交えて描かれます。



楢取素彦は、明治維新後、一時的に置かれた熊谷県で県令（現在の県知事）を務め、その後、初代群馬県令を務めて教育と産業の振興に力を注ぎました。

郷土史研究誌「埼玉史談第46巻」や「根岸友山・武香の軌跡」には、この楢取素彦と根岸友山に深い親

交があったことが史実として掲載されています。

その証の一つが、根岸家の一角にある「苗代稻荷神社」で、このお社の名前は楢取素彦の命名によるそうです。（素彦直筆のお社の銘板がありましたが、落雷被害により破損してしまいました。）

「楢取素彦」とゆかりのある根岸家、これを機に明治維新に関わった先人に思いをはせながら「友山・武香ミュージアム」を訪ねてみませんか。



苗代稻荷神社